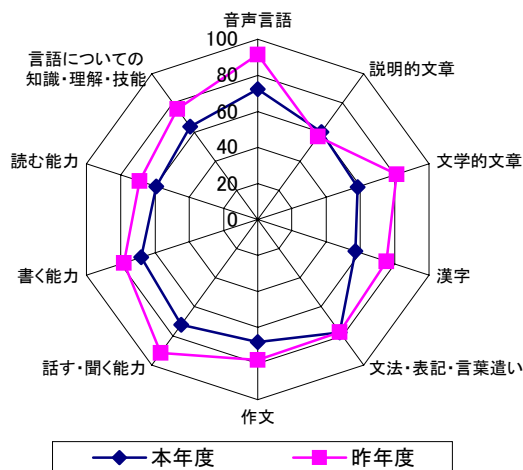


宇都宮市立鬼怒中学校第3学年【国語】領域別／観点別正答率

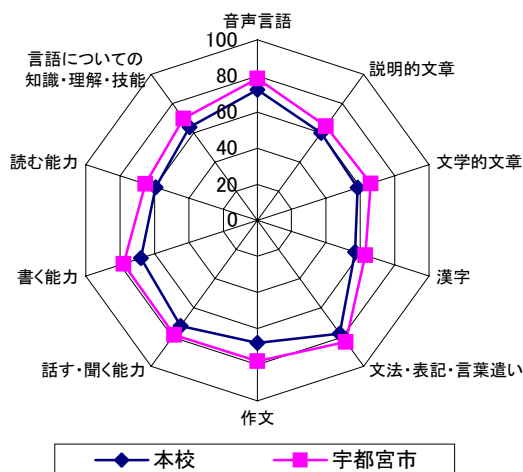
★本校の本年度と昨年度の状況

		本校	
		本年度	昨年度
領域別	音声言語	72.3	91.5
	説明的文章	60.0	56.9
	文学的文章	58.3	81.1
	漢字	56.9	75.1
	文法・表記・言葉遣い	77.5	77.2
	作文	68.0	78.0
観点別	話す・聞く能力	72.3	91.5
	書く能力	68.0	78.0
	読む能力	59.2	69.0
	言語についての知識・理解・技能	63.8	75.8



★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	音声言語	72.3	78.5
	説明的文章	60.0	64.5
	文学的文章	58.3	66.0
	漢字	56.9	62.8
	文法・表記・言葉遣い	77.5	83.4
	作文	68.0	78.0
観点別	話す・聞く能力	72.3	78.5
	書く能力	68.0	78.0
	読む能力	59.2	65.2
	言語についての知識・理解・技能	63.8	69.6



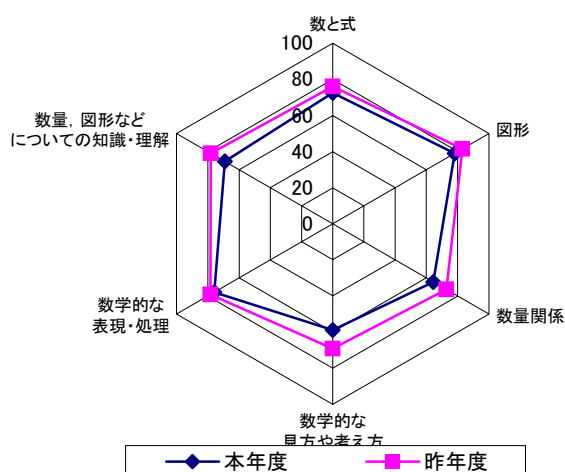
★指導の工夫と改善

領域	昨年度の状況と本年度の傾向	今後の指導の重点
音声言語 (72.3%)	・昨年度より19.2%と大幅に減少している。市の平均もやや下回っており、話を聞き取る力が不十分である。	・聞き取ったことをまとめて書くなど、聞き取りを中心とした指導の工夫をしていきたい。
説明的文章 (60.0%)	・昨年度をやや上回っているが、市の平均はやや下回っている。語句の意味や接続語に関する知識・理解が不足している。	・語句の意味を押さえてから内容理解をおこなったり、段落の要旨を接続語に注意してまとめたりする活動を通し、言語力の育成にも努めたい。
文学的文章 (58.3%)	・昨年度より22.8%と大幅に減少している。市の平均も7.7%下回っており、主題や心情の読み取り、語句の補充などの広範囲にわたって知識・理解が不足している。	・文学作品の情景描写や登場人物の心情を丁寧に押さえた指導を工夫していきたい。
漢字 (56.9%)	・昨年度より22.8%と大幅に減少している。市の平均も7.7%下回っており、主題や心情の読み取り、語句の補充などの広範囲にわたって知識・理解が不足している。	・漢字の小テストやまとめテストを定期的 to 実施し、確実に漢字力が身に付くように指導していきたい。
文法・表記・言葉遣い (77.5%)	・昨年度とほぼ同様だが、市の平均をやや下回っており、特に敬語に関する知識・理解が不足している。	・反復練習の時間を確保するとともに、誤った敬語の使い方を正しく直すなど、生きた言葉の指導を工夫していきたい。
作文 (68.0%)	・昨年度より12%減少している。市の平均も10%下回っており、書くことを苦手としている生徒が多いと考えられる。	・短作文を書く機会を増やし、書くことに慣れさせるとともに、書き方のポイントを示して書かせる工夫もしていきたい。

宇都宮市立鬼怒中学校第3学年【数学】領域別／観点別正答率

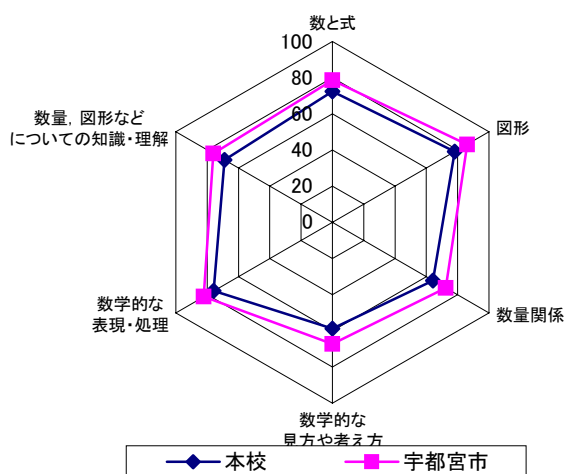
★本校の本年度と昨年度の状況

		本校	
		本年度	昨年度
領域別	数と式	72.5	76.0
	図形	78.1	83.0
	数量関係	64.3	72.8
観点別	数学的な見方や考え方	58.8	69.2
	数学的な表現・処理	75.8	78.3
	数量、図形などについての知識・理解	68.9	77.9



★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	数と式	72.5	78.6
	図形	78.1	86.1
	数量関係	64.3	72.4
観点別	数学的な見方や考え方	58.8	67.3
	数学的な表現・処理	75.8	82.2
	数量、図形などについての知識・理解	68.9	76.0



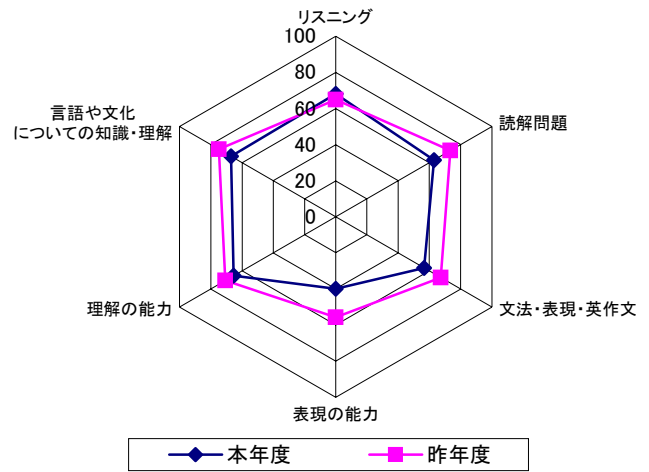
★指導の工夫と改善

領域	昨年度の状況と本年度の傾向	今後の指導の重点
数と式 (72.5%)	昨年度の平均正答率と比べると3.5ポイント減少しており、満足できる状況とはいえない。問題に適さない解答をする点からは、問題量が少ないと考えられる。まだまだ努力が必要である。	・1, 2年次の復習を授業に取り入れるとともに、3年の内容の反復練習を十分に行うことで、基礎的な力を確実に身につけさせたい。
図形 (78.1%)	80%に近いということで、十分満足できる状況にある。しかし、宇都宮市の平均正答率と比べると、8.0ポイント下回っているためさらなる努力が必要である。	・1, 2年次の図形の復習を授業に取り入れながら、合同と相似など、関連性の高い内容については特に丁寧に行い、理解を深めさせたい。
数量関係 (64.3%)	1学年から3学年の中では、もっとも平均正答率が高い。しかし、数量の関係を正しく理解できていない解答が目立つ。まだ満足できる状況ではないため、さらなる努力が必要である。	・関数の表・式・グラフについて、その相互関係を十分に理解させ、表現・処理に関する部分についても繰り返し練習させたい。

宇都宮市立鬼怒中学校第3学年【英語】領域別／観点別正答率

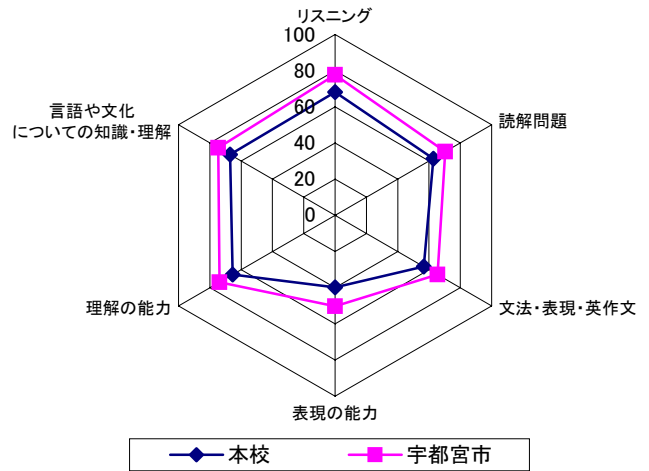
★本校の本年度と昨年度の状況

		本校	
		本年度	昨年度
領域別	リスニング	68.1	64.8
	読解問題	62.7	73.3
	文法・表現・英作文	56.6	67.2
観点別	表現の能力	39.9	55.6
	理解の能力	65.3	70.7
	言語や文化についての知識・理解	67.0	74.6



★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	リスニング	68.1	77.7
	読解問題	62.7	70.3
	文法・表現・英作文	56.6	65.3
観点別	表現の能力	39.9	50.2
	理解の能力	65.3	73.8
	言語や文化についての知識・理解	67.0	74.7



★指導の工夫と改善

領域	昨年度の状況と本年度の傾向	今後の指導の重点
リスニング (68.1%)	平均正答率が、昨年度よりも3.3ポイント上昇しているが不十分な状況といえる。小問別に見ると対話のリスニングにおいて不十分さが目立つ。	昨年同様、対話活動をはじめ、CDやALTの効果的な活動を増やし授業中に英語を耳にする機会を増やしていくとともに、難易度をつけた英問英答をくり返し指導していきたい。
読解問題 (62.7%)	平均正答率が、80%を下回っており、あまり満足した状況とはいえない。小問別に見ると対話文の空所選択において50%に満たない問題が目立つ。対話の流れを理解し適語を選択していくことが不得手である傾向が出ている。	短いスピーチの内容把握をくり返し練習するとともに、ポイントを提示し的確に把握できるように継続して指導していきたい。
文法・表現・英作文 (56.6%)	あまり満足した状況とはいえない。小問別に見ると対話文の空所補充や英作文に顕著に出ている。基本単語や基本文の定着が不十分と思われる。	基本文や基本単語の繰り返しの練習、また確認の機会を捉え定着するように工夫して指導していく。基本表現を使って、身の回りの出来事を英語で表現する場面を数多く取り入れ効果的な指導を進めたい。